



平成 23 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社セイヒョー
代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一
(コード番号2872 東証第2部)
問合せ先 管理部 課長 田畑 大吾
TEL 025-386-9988

製造工場の合理化に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 9 月 30 日開催の取締役会において、下記のとおり製造工場の合理化に関して決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 合理化を実施する理由

当社は、第100期事業年度より「セイヒョー中期経営計画」を策定し、過去5事業年度から低下傾向にある業績の回復を最優先の課題としており、第2年度である当事業年度においては、売上面・コスト面において東日本大震災による影響を受け、当初の業績予想から本日修正を行っております。

当事業年度においては営業利益の確保を最優先課題とし、製造工場においては製造設備の効率化を図るため、前事業年度において佐渡事業部佐渡工場におけるアイスクリーム製造については、当社新潟工場に移管することとしておりました。

しかし、今般の東日本大震災の影響による節電対応及び新潟工場の稼働増加により、現行の製造拠点の分散化と製造品目の適正化、保有資産の有効活用が必須であると考え、佐渡工場におけるアイスクリーム製造を継続し、製品供給の安定化を図ってまいります。

また、佐渡事業部佐渡工場においては、アイスクリーム製造設備の導入を図り、既存の生産量を維持しつつ、人員配置の適正化及び業務の効率化を図ることを決定いたしました。

2. 合理化の内容

(製造拠点に関する事項)

当初新潟工場に移管予定だった、佐渡工場のアイスクリーム製造については継続することとし、同工場のアイスクリーム製造設備に、製造ラインの効率化を目的とした設備を新規に導入し、生産量を維持しつつ製造ラインの人員配置の適正化を行います。また、佐渡工場における和菓子製造については、大半を当社三条工場に移管し、三条工場の稼働率向上を図り、収益力改善に努めます。

(製造設備の拡充)

佐渡工場にアイスクリーム製造ラインの包装設備を導入し、製造ラインの効率化を図ってまいります。

(人員の削減)

- (1) 対 象 者 : 有期契約社員(パートタイマー)
- (2) 対 象 人 員 : 18 名
- (3) 退職予定月 : 平成 23 年 10 月

3. 業績への影響

本合理化に伴う、当期業績への影響は軽微であります。

なお、平成 24 年 2 月期の業績予想修正の詳細については、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

以上